

ひだご坊真宗教化センターだより 2021年1月号

発行日:2020(令和2)年12月24日 第6号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞

高山市鉄砲町6 TEL 0577-32-0776 web <http://hidagobo.jp> ✉ takayama@higashihonganji.or.jp

コロナの今、 視野を広くし、垣根を越え、 囲いを破っていく視点を

新型コロナが拡大傾向のまま、例年の晴れやかな気分とは異なる新年を迎えます。早く元通りになってほしいと願う反面、激変していく日常に戸惑うも、また元の社会に戻ってしまうのがよいのか、と疑念も残ります。格差社会、多様化する価値観、デジタル社会など、社会が大きく変わろうとしているのを誰もが感じています。多くの企業は with コロナの時代の変化に対応しようと業態の革新を模索しています。

真宗教化を担う私たちを取り巻く環境も、社会的にも組織的にも、コロナ前以上に厳しくなる予想は容易にできます。先細りで悲観的な雰囲気の中では、どうしても視野が狭くなり、気力も萎えて考えも後ろ向きになりがちです。

「コロナが落ち着いたら・・・、終わったら・・・」という発想で、「今はできない、仕方がない」と縮小や無難な方向に安易に流れがちになることに注意すべきでしょう。

いつの時代も、感染症、飢饉、大火、戦争、天変地異など数々の苦難の現場を人間は生き

てきました。悲しみや苦しみの中で右往左往しながら、人に寄り添い励まし支え合って生き抜かれた先達が連綿と紡がれた歴史を、今私が生きています。どんなに辛く冥い世にあっても、その冥さの中に生きる勇気・希望の燈火になるものを見出し生きてこられたに違いありません。そのような生活の現場に立ち、教えを確認しながら「信じて生きて往こう」と共に歩んだ人・親鸞を、私たちは宗祖としています。親鸞の言葉がなぜ燈火になったのでしょうか。親鸞の眼差しや生き様に接した人々が驚き感動し、語られた言葉が間違いなく人々に届き響いたからです。生きて行く勇気や道標になったからです。「正信偈」は希望を失わない偈として唱い継がれてきたのです。

私たちの仕事は、形ある商品売って対価を得るのではなく、また先進的な技術や革新的な製品を生み出すのでもありません。宗祖の眼差しや生き様が生きて行くエネルギーとなるように、人々に届くように表現し実現する工夫を、僧と俗が共に模索する道かもしれません。コロナ禍での日本の政治リーダーの発言が、「発信力が弱い、説得力に欠ける」などと揶揄されていのは、語られる言葉が国民に響いていないの

です。私たちは泰然と静観してはいけません。今私たちに何が出来るのか、何をすべきなのか、アイデアを出し合って摸索すべき秋です。

そのために意識すべきことがあります。私たちは古くからの『寺檀制度』に長く守られ、真宗の世界に垣根を立て囲いをし、内と外をつくらせてきたように思います。そして今や、垣根そのものや囲い内を強くし守ることを、教えを護り伝えることにしていないでしょうか。内に固執して外の声に鈍感になり、情勢変化に対応できない姿勢は、国民に希望を抱かせない日本の政治家達の姿に重なります。誰もが救われていく世界を語るなら、垣根を超え囲いを破ろうとする視点が必要です。そして見ようとならない人をつくってきた体質や、伝統をいつも通りにこなす習慣にしている自分を問い直すことを意識すべきです。

教区改編を機に始まった、新しい教化事業の取り組みや事業変革の模索が、内ばかりに目を向け窮屈になっていた教化の可能性を、外へと広げていくことになるはずです。

飛騨御坊真宗教化センター
企画会議副座長 旭野康裕



★ご坊センターからのお知らせ★

第4回 企画会議報告

- ご坊センターWeb ページのリニューアル・インスタグラム開始
- 教区改編を機に「組門徒会研修」の実施形態及び内容を整備
- 組長及び組門徒会長 ご坊センター懇談会の開催について

去る12月17日、第4回企画会議が開催された。主な協議事項、確認事項は以下のとおり。

1. インターネット広報について

- ① インスタグラム「hida.gobo」報告(11/19~12/16)
投稿回数:29回投稿 閲覧アカウント総数:1,378名
フォロワー数:252名 総閲覧数:7,064回
2日に1回程度更新。広く飛騨御坊に触れていただくきっかけとなることを目的に開設。

② ひだ御坊 HP イメージ案を提示

現在の制作進捗状況を紹介し意見聴取。今後さらに制作作業を進め、2021年3月を目途にリニューアル公開予定。

2. 組門徒会研修会実施計画について

第3回企画会議の確認事項を踏まえ、組門徒会研修の実施形態及び実施内容の具体案を提示し了承を得る。なお、課題として講師の選定及び派遣方法をどのように考えるのか継続して議論する。

3. 「組長並びに組門徒会長 飛騨御坊真宗教化センター懇談会」について

期日:2021年2月17日 午後1時半~3時半
内容については、来年改選の組門徒会員の研修についてなどを中心に意見聴取し、センター活動の現況(各部会から報告)や、別院の動きについて報告する。

高山地区 第1回坊守会一日研修会を開催

日時	2021年1月19日(火)午後1時~
会場	高山教務支所 2階 研修室
講師	三島多聞氏(ご坊センター長・高山別院輪番)
講題	なぜ別院を中心に教化を考えるのか
参加費	500円 持ち物 『真宗聖典』

※参加については、各組坊守委員でとりまとめ。

※マスク着用にてご参加ください。

テレビ番組 ごぼうチャンネル!

第二弾放送開始!

放送期日	1月4日(月)から31日(日)まで 毎日放送!
放送時間	7時15分~7時30分・17時30分~17時45分
放送内容	お坊さんのお話、映像「仏典童話」など
視聴方法	高山市ケーブルテレビ「Hit net TV!」への加入が必要です。 (お問い合わせ先 0800-200-8688)

新型コロナ感染拡大の影響により、様々な仏事が中止・延期・簡略化せざるを得ない状況のなか、各ご家庭に真宗のメッセージをお届けしようと作られたのが「ごぼうチャンネル」です。

前回好評の第一弾につづき、さらにパワーアップした第二弾をぜひご家族皆様までご覧ください。(放送終了後YouTubeでも公開されます)



■「人と生まれたこと」に立ち帰る

「釈」の一字を姓としていただくということは、インドの四姓カースト制度やあらゆる差別を超えて人と出遇える者として生きていくことの表明でもある。

宗門の宗祖御誕生850年慶讃テーマが「南無阿彌陀仏一人と生まれたことの意味をたずねていこう」である。本山発行の『宗祖親鸞聖人』の第1章が「人と生まれて」であるが、人と生まれるということは、人間であれば誰も避けることのできない苦悩を生きていかなければならないのだということである。

この五濁・五苦等は、六道に通じて受けて、未だ無き者はあらず、常にこれに逼(ひつ)つ。もしこの苦を受けざる者は、すなわち凡数の撰にあらざるなり。

(『観経疏序分義』善導大師・『宗祖親鸞聖人』より)

この自分を含め、全ての者が等しく苦悩の存在であるという領(う)きから一味平等の確かめが開かれてくる。ともに、念仏によって救われなければ

いけないという受け止めが帰依三宝である。そういう領(う)きに帰せしめる働きが帰依三宝にはある。

法名をいただくということは、お念仏から問われてくる「人と生まれたこと」に立ち帰ろうとする者の、一味平等の名のりであろう。この「一味平等」ということは、釈尊以来、仏教に帰依する全ての者に共通するものである。法名を決める立場の者は、このことをしっかり認識しなければいけない。

手持ちの法名リストから「どれでもいいですよ」と選ばせるとか、特定の文字に俗名の一字を付けて機械的に決めていくとか、そういう安易な付け方はいかがなものかと思う。

■差別法名と差別戒名

一味平等の精神の名のりであるはずの法名ではあるが、「差別法名」や「差別戒名」がなぜあったのか。前段まで述べてきたように、これは釈尊や親鸞の教えから出るはずがない。差別法名を何とも思わず授与してきた「念仏の信仰」とは何かを徹底的に問い直す必要がある。そのことが見失われているから、いまだに、差別問題は自分

の外の事とする無関心の僧俗が大部分を占めているのではないか。

差別法名について次のような意見がある。

- 一、法名をつける者に差別的意図がなければ、差別法名とはいえないのではないか。
- 二、法名を授けられた人が、被差別部落の人でなければ、差別法名ではないのではないか。
- 三、これは単に「旃陀羅」という一語の問題のみならず、『観経』解釈の全体にかかることであり、それが明確にならなければ、差別法名とは断じえないのではないか。

上記意見のような感覚は、空気のように一般僧俗・寺族の中にあり、従って宗門の一人ひとりが真剣に関わりきれていないもどかしさがある。

差別は個人の意識にかかわりなく、日本社会の体質的構造として存在している。宗祖が「いし・かわら・つぶてのごとくなるわれらなり」(『唯信鈔文意』)といわれた真宗の立ち位置が、いつの間にか日本社会の差別的構造の一端をかつぐような思想に変貌したのか。

★お知らせ★

高山別院御堂番 休止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、令和2年12月19日(土)より令和3年1月31日(日)迄の御堂番を休止いたします。

教務所・教務支所年末年始休暇について(お願い)

年末年始休暇のため、下記のとおり事務休止となりますので、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

12月29日(火)～1月5日(火)

緊急連絡先：高山別院 0577-32-0688

御坊別院 松すべき・本堂のおすす払い
—インスタ「hida.gobo」より—

「松すべき」という言葉をご存じでしょうか？飛騨地方では、小麦粉と水を混ぜた独自のノリを使い松の穂先を固め、若松に見立てて新年を迎える風習があります。

12月21日、新年を迎えるにあたり、高山別院でその「松すべき」が行われました！また高山別院本堂のおすす払いも同時に行われました。おすす払いは毎年年末に、一年にたまった埃を払う大掃除のことで、細かいところまでお掃除いただきました。どちらもたくさんの方にお手伝いいただきありがとうございました！これで高山別院も新年を迎えることができます！



※下記 QR コードから投稿をご覧くださいこともできます♪

Instagram「hida.gobo」の開設

高山別院を多くの方に知ってもらえるよう、Instagram「hida.gobo」を開設しました。きまぐれ更新になりますが、別院のことを発信してまいります。フォロー・イイネ！、お待ちしております！

※右のQRコードからInstagramのページにアクセスできます。⇒⇒



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2021年1月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	会場
1	金	0:00	別 修正会 法話：輪番	本堂
2	土	13:00	別 修正会 法話：小原 正憲氏	本堂
3	日	13:00	別 修正会 法話：三島 大遵氏	本堂
4	月			
5	火			
6	水		別 鏡開き	
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	13:00	別 大谷婦人会新年互例会 法話：輪番	御坊会館
12	火	19:00	組 高山二組親鸞教室②	御坊会館
13	水	7:00	別 前住上人ご命日	本堂
14	木	14:00	セ 解放推進協議会常任委員会 web	センター室
15	金	7:00	別 半日華	
16	土			
17	日			
18	月			
19	火	13:00	教 高山支部坊守会研修会 第一回	研修室
20	水			
21	木			
22	金	13:30	セ 広報に関するプロジェクトチーム	1階ミーティングルーム
23	土			
24	日			
25	月	19:00	組 高山二組親鸞教室③	御坊会館
26	火	19:00	教 教化研究所	研修室
27	水	13:00	別 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	木	13:00	別 親鸞聖人ご命日 法話：細川 宗徳氏(蓮乗寺住職)	本堂
29	金			
30	土			
31	日			

2月

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
2	火	13:30	教 教化委員会・慶讃推進委員会	17	水	13:30	セ 組長・門徒会長センター懇談会
3	水	13:00	別 三日のご坊 法話：窪田 純氏	18	木	19:00	教 教化研究所
8	月	19:00	組 二組親鸞教室④	19	金		教 若者教化代表者協議会 web
11	木	13:00	別 大谷婦人会定例 法話：輪番	22	月	14:00	教 真宗公開講座 3回目
13	土	7:00	別 前住上人ご命日			19:00	組 高山二組親鸞教室⑤
15	月	13:30	教 聖教学習会	27	土	13:00	別 親鸞聖人お逮夜
16	火	13:30	教 高山支部坊守会研修会 第2回	28	日	13:00	別 親鸞聖人ご命日 法話：樋口博之氏